

シロメバル（地方名：めばる）

1 生態

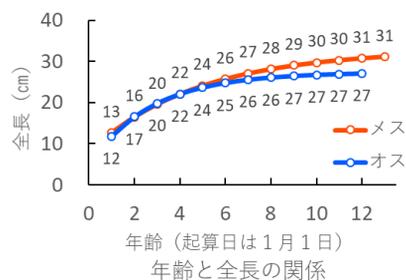
・青森県から九州北西岸の日本海・東シナ海、東北太平洋沿岸、相模湾から三重県の太平洋沿岸、瀬戸内海、有明海の岩礁域に分布しています。

・オスは2歳、メスは3歳で全て成熟します。卵胎生で12～2月に仔魚を産みます。仔魚は2か月ほど浮遊生活をした後、沿岸の藻場などに定着します。

・主に甲殻類や魚類を食べます。



* 福島県水試研究報告第13号（2006）により右図を作成

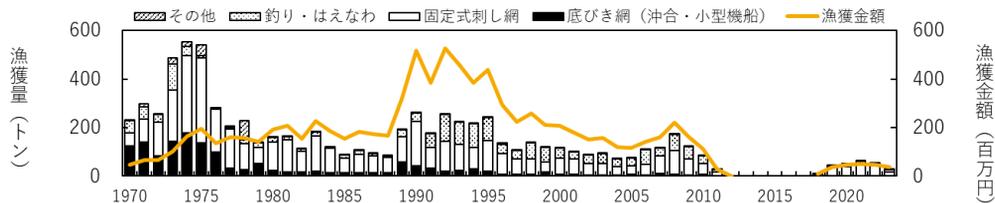


2 漁業に関する情報

・主に刺し網や釣り等で周年漁獲されています。

・2023年（令和5年）の漁獲量は28トン、金額は36百万円でした。

・2011年3月の震災以降、操業自粛や国による出荷制限で水揚げはありませんでしたが、2018年（平成30年）6月から再開されています。

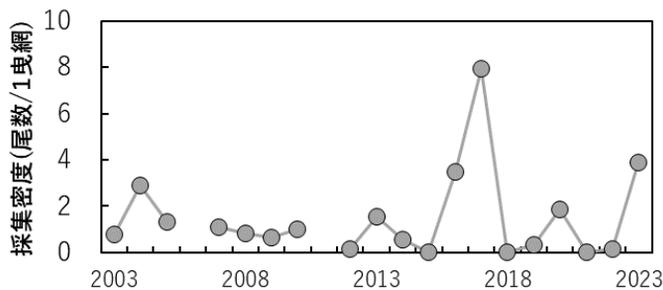


漁業種類別漁獲量と漁獲金額の推移 * 2013～2017年まで相対取引のため金額データ無

3 資源の状態

・CPUE（単位努力量あたり漁獲量）等の資源量指標となる情報が不足していることから資源水準や動向は不明です。

・松川浦での稚魚調査によると、良好な加入がみられた2017年級群に次ぐ加入が2023年に確認され、今後の漁獲加入が期待されます。



(参考) 松川浦ビームトロール調査における採集密度の推移

4 資源管理の取組み

・刺し網の目合い拡大や小型魚が多く漁獲される海域に保護区を設定するなど、漁獲開始年齢を引き上げる取組みが有効と考えられます。